

# 平成27年度 学校経営の方針

確かな学力，豊かな心，健やかな体に支えられた子どもたちの「生きる力」をはぐくむため，学校教育の充実を図り，将来を主体的に生きていく人づくりのために，教育水準の向上と特色ある学校づくりに努める。

## 学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒  
正しく判断し、自主的に行動する生徒

## 平成27年度の重点目標

- 基礎基本の徹底と活用力の向上
- 温かい人間関係づくり
- 心身ともに健康な体づくり

## 1 目指す学校の姿

### (1) 生徒が目を輝かして登校し楽しく学べる学校

- ① 「学び合い」等生徒同士のかかわりや言語活動を重視した学習指導
  - ア 「わかる授業」を徹底し，学習の基礎基本を確実に定着させ，生徒が学ぶことの楽しさ，達成感をあじわうことができる学習を目指す。
    - ・ 「わかる授業」とは，その時間の目標、内容、取組のながれが明確で、生徒に教えることと考えさせることが区別されており、その時間の学びを最後にしっかりと確認させている授業である。
  - イ 教師と生徒、生徒同士のかかわりを生かした指導
    - ・ 授業は教師と生徒、生徒同士の教材をもとにしたかかわり合いである。教師から生徒への一方的な伝授のみの授業から生徒同士が互いの考えを表現し、自らの考えと比較し、よりよい考えを自らのものとして獲得するような授業、授業の最初の自分から授業終了後の自分が成長しているのを実感できるような授業づくりを進めてほしい。
  - ウ 「学び合い」等による学習意欲の喚起と思考力、判断力、表現力の育成
    - ・ 一人で考えても手が出なかったり、問題の意味を理解できなかったりする生徒が互いにかかわりをもつことによって、ヒントを得たり、意味の理解ができて学習意欲につながる。また、互いに意見を交換したり、相手の考えを理解することは思考力が要求される。さらに、相手に自らの考えを上手に伝えることは表現力の育成となり言語活動の充実につながる。
- ② 温かい人間関係を育てる教育の推進
  - ア 生徒の活動場面には教師が指導している姿があること
    - ・ 生徒が活動しているところには教師が指導していたり、生徒の活動の様子を観察していたりすることは当然である。指導を繰り返す、生徒が本番でできるようになるように何度も指導する姿が望まれる。本番では、教師が手や口を出さず、生徒の力で実現できるようにしたいものである。
  - イ 生徒のよさを見つけ、ほめて伸ばす教育活動の展開
    - ・ 一般に生徒の悪い面はよく目に付くが、よい面を見つけてほめる指導を進めていこう。問題場面での指導は当然であるが、何も無い時によりよい面を見付けることはとても大切である。
  - ウ 教師と生徒、生徒同士のよりよい人間関係づくり
    - ・ 学校生活全般が人間関係を学ぶ場である。特に、学校生活の大半を占める授業中における人間関係づくりを念頭に置いて授業を進めていこう。道

- 徳、特別活動、総合的な学習の時間は人間関係づくりの大切な時間である。
- ・ 部活動は人間関係づくりの最も大切な場である。競技力を付けるとともに礼儀を身につけ、人格を磨く場としての大切な時間である。

## (2) 保護者や地域の人々とともに取り組む学校

- ① 保護者や地域の人々の声に耳を傾ける姿勢
  - ・ 学校は保護者や地域に向けて情報発信をするとともに、保護者や地域の人々の声に耳を傾け、願いや希望を受け止め、常に学校としての在り方を探っていかなければならない。(学校評議員会、K C A)
- ② 生徒の現状や目指す姿、教職員の取組の明確な説明
  - ・ 学校だよりやHP、学年だより等を通じて教育目標とそれにつながる各活動の目指す姿を示し、教職員の取組を紹介し、指導の結果や教育効果について説明責任を果たしていく。
- ③ 地域の活性化を意識した活動と保護者への協力要請
  - ・ 地域の中での生徒の活動や地域活性化の取組には、生徒、保護者、地域の人々の力を借りながら、学校としての役割と責任を果たしていく。(生徒会の活動等)

## 2 目指す教師の姿

上記の目指す学校の姿を実現するためには一人一人の教師が実現のために具体的な生徒への指導を実施していかなければならない。目指す教師の姿として、次の5点をあげておく。

- (1) 生徒とともに活動する教師
- (2) 生徒のよさを見つけ、ほめて伸ばし、夢を持たせる教師
- (3) 学ぶ意欲を育てる教師
- (4) 生徒と教師、生徒同士の間関係の醸成に努める教師
- (5) 自分の持ち味を生かして取り組む教師

## 3 教師集団として

- (1) 信頼される教師集団
  - ・ 教育公務員として、「信頼」は最も大切にされる価値である。不注意で起きる非違行為は起こす気はなくとも教育に対する信頼を失う行為となる。信頼される教師集団であるために互いに声をかけ合い、同僚の教師にも気を配りながら教育に邁進していきましょう。
- (2) 切磋琢磨の研修
  - ・ 昨今の変化の激しい社会情勢の中、生徒の生活環境や教育環境も大きく変化しつつある。このような状況の中で、われわれ教師は常に生徒の変化、生活環境の変化に対応し、その変化に応じた指導を行っていかなければならない。そのためにも、研修が必要であり、授業、生徒指導、その他あらゆる教育活動に必要な指導理念と指導技術を修得していきましょう。
- (3) 常識ある社会人として
  - ・ われわれ教師は学校という社会の中での生徒への指導業務をなりわいとしているが、社会から見るとある意味特別な社会の中での仕事である。学校の中での常識が社会の中では通用しない場合もあるし、社会の常識が学校では通用しないものもある。われわれ教師は広い視野から学校を観て、社会常識との折り合いをつけて教育を進めていく必要がある。